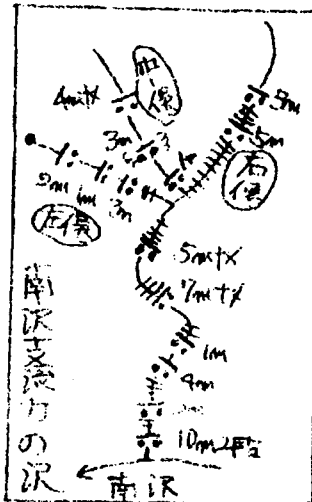


南沢支流カの沢右俣，中俣，左俣

1988年7月23日

山本不動尊から徒歩50分でカの沢(仮称)出合。6:45。カの沢は、10mの滝をかけて南沢本流に合流している。出合の滝は直登する。花崗岩の岩は、ホールド豊富で、快適に直登できた。このあと花崗岩のナメが続く。沢の規模は小さいが、フリクションがよくきいて、途中の小滝も楽に越してゆける。5mのナメ滝を直登すると、水量が急減し、もう先が見えてきた感じ。



沢はここで三つに分かれる。まずは右俣へ。ナメを過ぎると5m、3mと小滝が二つ続く。直登して上に出ると、水の流れは消え、落葉のいっぱい積もった窪みにすぎなくなった。

中俣も小滝が三つ出てきただけ。中の3mだけが、ちょっぴり直登気分を味わえた。最後までつめ、四ツ沢のピークのやや南方の尾根に出る。尾根には古い踏跡があったが、今では使われていないようであった。

尾根上にある小さな岩峰の北側から下降開始。急斜面の樹林帯を下る。下り付いた所が左俣の源頭、小さな湧水地点であった。そこからしばらくは、落葉の厚く積もった中を進む。花崗岩の岩床が見えてくると、ようやくひとすじの水流となる。ここから左俣は、途中小滝をまじえながら急速に高度を下げてゆくが、たいした変化もないままで終了となった。

(記)

[タイム] 山本不動尊(5:50)→カの沢出合(6:45)→左俣出合(6:55)→右俣終了(7:05)→中俣開始(7:10)→中俣終了・尾根(7:25)→左俣下降開始(7:45)→左俣下降終了(7:55)

南沢支流ヨの沢

1988年5月15日

ヨの沢(仮称)はチョロチョロとした流れで南沢本流に合流している。小さな沢であり期待していなかったが、中に踏み込むと5mクラスの滝が続き、しかも最初のナメ滝以外はほぼ垂直の滝で、短いが結構スリル感も味わえる沢であった。

10:50遡行開始。出合に小さな砂防ダムがあり、それを越えて先に進むと小滝

